



やさい工房 ぷらるーと

所在地 中鶴 539
 設立 平成 30 年 5 月
 従業員数 1 人
 事業内容
 ○薬物野菜の生産販売
 ○農業に関する栽培・生産
 コンサルティング
 ○農業に関する受託研究

★ 現在、旧深川小学校に植物工場を整備中です。

現在は、LED照明を使った葉物野菜の生産販売や農業に関する生産コンサルティングなどを行っています。

企業理念は、「私たちは赤ちゃんが母乳の次に口に入れる野菜を育てます」、「私たちはお客様が明日も食べる野菜を育てます」、「私たちは農業従事者様が認める野菜を育てます」の3つ。安全な野菜を作り、それらを安定的に供給し、すべての農家から認められる企業を目指しています。

当社の特徴として、室内で野菜を栽培できる閉鎖型植物工場設備を利用して、野菜の生産を行っています。この設備で野菜を育てることで、季節や天候に左右されず、安定的に無農薬野菜をお客さんに提供することができます。現在は、冬野菜のレタスを夏に、夏野菜のバジルを冬に生産し、市内の卸売業者を通して全国に出荷。津奈木町のオイス



代表 北野剛志さん

新型コロナウイルス感染症の影響で、流通網が変わったこともあり、販売戦略が直近の課題です。今後は、スーパーなどにも野菜を卸して、皆さんにおいしい野菜を提供していきたいですね。

当社は、LED照明を使った葉物野菜の生産販売や農業に関する生産コンサルティングなどを行っています。

企業理念は、「私たちは赤ちゃんが母乳の次に口に入れる野菜を育てます」、「私たちはお客様が明日も食べる野菜を育てます」、「私たちは農業従事者様が認める野菜を育てます」の3つ。安全な野菜を作り、それらを安定的に供給し、すべての農家から認められる企業を目指しています。

当社の特徴として、室内で野菜を栽培できる閉鎖型植物工場設備を利用して、野菜の生産を行っています。この設備で野菜を育てることで、季節や天候に左右されず、安定的に無農薬野菜をお客さんに提供することができます。現在は、冬野菜のレタスを夏に、夏野菜のバジルを冬に生産し、市内の卸売業者を通して全国に出荷。津奈木町のオイス

ターバルで使われている「バジルオイル」のバジルは、当社で生産したものを使っていただいています。今後は、生産規模や野菜の種類を増やし、多くのお客様の生鮮野菜に関する悩みを解決していきたいと考えています。

植物工場は、ある程度の規模や設備投資がないと、採算が取れないと考えている人が多いと思います。現在、旧深川小学校内に建設中の生産工場は、同規模の工場の10分の1のコストで設計しており、ローコストでも採算が取れる植物工場ができることを自ら実証しています。



現在、栄町の生産施設でレタスやバジルを栽培しています。LED照明を使った栽培は、実際の約半分の日数で生育でき、週1回栽培・収穫しています。



バジル水耕栽培の様子

現在、バジルの生産量は着実に増加しており、県内外のレストランやピザ店、食品加工場など、多様な業態のお客様へ安定して出荷できる体制が整ってきました。植物工場ならではの強みである安定供給と安定品質を武器に、これからも新たな取引先の開拓に積極的に取り組み、水俣の農業をさらに盛り上げていきたいと考えています。地域に根ざした生産者として、より多くの方に喜ばれるバジルづくりを続けていきます。